

令和7年度 公益財団法人とやま国際センター事業報告

I 国際化促進事業

1 国際交流事業

(計画額 1,955千円 実績額 1,178千円)

(1) 草の根国際活動助成

民間レベルの国際交流、国際協力及び多文化共生活動を奨励するため、国際交流団体等の自主的な活動に対し助成を行った。

団体名	事業名	助成金額
日本語教室 in 氷見	日本語が話せない外国人のための入門クラス	150 千円
しんみなとコスモス	射水市堀岡地区における外国ルーツの子どもたちの支援事業	200 千円

(2) とやま国際草の根交流賞

国際交流や国際協力活動を草の根レベルで実践している個人、団体を顕彰し、県民の国際交流・協力に関する意識の啓発、向上を図った。

期 日：11月18日(火)

場 所：富山県民会館 302 号

表彰者：個人(3名)

北島 茂子 富山市民国際交流協会理事・総務企画委員長

小桜 邦彦 富山県舞台技術研究会理事

高橋 喜良 南砺ラオス会渉外部長

団体(2団体)

富山ネパール文化交流協会(会長 ダルマ・ラマ)

(一社)富山ムスリムセンター(代表理事 サリム・マゼン)



(3) 国際交流フェスティバル

県民が異文化に触れるとともに、国際交流や国際協力などに取り組む県内の団体が活動状況を紹介する機会を提供した。

期 日：11月2日(日)

場 所：オーバード・ホール/中ホール

来場者：延べ 約1,000名

主 催：富山市民国際交流協会

(公財)とやま国際センター

JICA 北陸



(4) 国際交流団体等ネットワーク化

新たに1団体のネットワーク登録を行うとともに、登録団体によるネットワークの活用を図った。

新規登録：(公財)AFS日本協会富山支部 (国際交流フェスティバルに参加のため登録)

2 国際協力事業

(計画額 57,929千円 実績額 46,851千円)

(1) とやま研修員等の受入

ア とやま研修員

富山県が受け入れるとやま研修員について、滞在中の日常生活等を支援した。

国名	人数	受入期間	研修機関(研修分野)
韓国	1名	令和7年7月～12月	富山県観光推進局観光振興室国際観光課(観光)
ブラジル	1名	令和7年7月～11月	(株)ワールドリー・デザイン(デザイン)

イ 多文化共生推進研修員

ブラジル人児童・生徒の学習支援のため、富山県が受け入れる多文化共生推進研修員について、滞在中の日常生活等を支援した。

国名	人数	受入期間	研修機関(研修分野)
ブラジル	1名	令和6年7月～令和7年6月	高岡市立野村小学校(教育) 高岡市立芳野中学校(教育)

(2) 外国人留学生への支援

ア 県費留学生の受入

富山県が県内の大学へ受け入れる留学生について、滞在中の日常生活等を支援した。

区分	人数	受入期間	留学先
南米留学生(ブラジル)	1名	令和7年4月～令和8年3月	富山大学人文学部
遼寧省留学生	1名	令和7年4月～令和7年10月	富山大学人文学部
インドAP州留学生	1名	令和7年9月～令和8年1月	富山県立大学大学院工学研究科

イ 私費留学生への支援(国民健康保険の加入助成)

私費留学生及び日本語教育機関の学生の国民健康保険加入促進のため助成金を交付した。

助成額：年額12千円(本人負担分の約2/3)

支給者数：私費留学生 118名 日本語教育機関学生 126名

ウ アセアン留学生の受入

富山県と県内企業が連携して、留学から就職までを一体としてアセアン地域から受け入れる第5期生2名、第6期生2名について、滞在中の日常生活等を支援した。

	国名	受入企業	受入期間	留学先
第5期	インドネシア	NiX JAPAN(株)	令和5年9月～令和8年3月	富山県立大学大学院工学研究科
	インドネシア	北陸電気工事(株)	令和6年1月～令和8年3月	富山大学大学院理工学研究科
第6期	ベトナム	黒田化学(株)	令和6年10月～令和9年3月	富山県立大学工学部
	マレーシア	朝日印刷(株)	令和6年11月～令和9年3月	富山大学理学部

(3) NOWPAP支援協力事業

国際連合の機関であるNOWPAP(北西太平洋地域海行動計画)地域調整部富山事務所の活動が円滑に運営されるよう支援した。

(4) 青年海外協力隊事業への支援

青年海外協力隊をはじめとするJICAボランティア事業の帰国報告会の開催を支援した。

・青年海外協力隊富山県OB会活動補助金 80千円

(5) 海外移住者及び関連団体への支援

- ・在外県人会活動費補助金 1,170千円(ブラジル、アルゼンチン)
- ・南米協会活動費補助金 1,000千円
- ・海外移住家族会活動費補助金 5,599千円

3 多文化共生事業

(計画額 25,732千円 実績額 22,483千円)

(1) 多文化共生フォーラムの開催

県民や在住外国人の多文化共生に関する理解を深めることを目的として開催した(通算6回目)。

期 日: 2月21日(土)

場 所: 富山市民プラザ4階アンサンブルホール

主 催: 富山県、(公財)とやま国際センター、JICA 北陸

参加者: 138名(登壇者及びスタッフをあわせると165名)

内 容: 第1部 講演「ちがいを楽しむ」

ゲスト 副島 淳氏(俳優・タレント)

第2部 トークセッション「私たちのちがいが
富山をおもしろくする！」

パネリストは県内在住10~20歳代の外国ルーツなどの若者5名



(2) 富山県外国人ワンストップ相談センターの運営

ア 相談体制

- ・専任職員(相談コーディネーター及び相談員)、国際交流員を配置し、英語、中国語、ポルトガル語、ベトナム語、韓国語、テルグ語、ロシア語に対応
- ・その他の言語については、遠隔通訳サービス会社との契約によるiPadや多言語翻訳機(ポケトーク)で対応
- ・生活相談をリアルタイムで解決できるよう三者通話機(トリオフォン)を活用し、具体的な照会先となる関係機関等と相談者の通訳サポートを実施

イ 関係専門機関との連携

① 法テラス富山事務局との連絡会

期 日 4月8日(火)

場 所 法テラス富山事務局

※今年度の当相談センターの事業について打合せ(無料弁護士相談会)

② 富山県女性相談支援センターとの連絡会

期 日 4月8日(火)

場 所 富山県女性相談支援センター

※昨年度の頻繁な利用へのお礼と引き続きの連携依頼、先方からは研修会における講演依頼あり

③ ハローワーク富山との連絡会

期 日 4月9日(水)

場 所 ハローワーク富山第2コーナー

※昨年度の対応事例について振り返り、引き続きの連携依頼

④ 富山県女性就業支援センターとの連絡会

期 日 4月10日(木)、4月23日(水)

場 所 富山県女性就業支援センター

※昨年度の連携について振り返り

⑤ 富山年金事務所との連絡会

期 日 4月30日(水)、6月5日(木)、7月31日(木)

場 所 富山県外国人ワンストップ相談センター

※年金事務所による相談員研修会と外国人のための相談会実施について打合せ

⑥ 県厚生部子ども支援課・県健康相談センターとの連絡会

期 日 5月2日(金)

場 所 富山県外国人ワンストップ相談センター

※外国人の性教育に関する事業立ち上げにおける連携要請あり

⑦ 連合富山との情報交換会

期 日 6月2日(月)

場 所 富山県外国人ワンストップ相談センター

※外国人からの労働環境に関する相談件数について

⑧ 富山県弁護士会との連絡会

期 日 6月16日(月)

場 所 富山県弁護士会館

※外国人のための無料弁護士相談会の実施について打合せ

⑨ 名古屋出入国在留管理局との連絡会

期 日 6月27日(金)

場 所 とやま国際センター

※今年度の相談員ネットワーク研修会について打合せ(富山年金事務所も参加)

ウ 業務内容の発信

① インターンシップ生の受入れ

期 日 5月22日(水)、9月3日(水)、2月19日(木)

場 所 とやま国際センター

内 容 JICAのOJT研修として受け入れ(ワンストップ相談業務を説明)

② 富山県女性相談支援センターの研修会での講演

期 日 7月23日(水)

場 所 富山県女性相談支援センター

内 容 「第1回女性相談支援員等連絡協議会」において外国人相談の状況について講演

③ (独法)経済産業研究所職員の訪問受入れ

期 日 4月21日(月)、2月12日(木)

場 所 富山県外国人ワンストップ相談センター

内 容 富山県内の外国人従業員雇用企業の状況について情報交換

エ 相談対応能力向上のための研修会参加

① 相談員ネットワーク研修会

期 日 10月23日(木)

場 所 とやま国際センター

主 催 名古屋出入国在留管理局(講師:審査部門入国審査官4名)

内 容 在留資格・在留手続についての説明、意見交換

参加者 相談員7名、国際交流員6名、相談コーディネーター

新 オ 「外国人のための無料専門家相談会」

① 無料弁護士相談会弁護士

期 日 9月26日(金)

相談者 3名(フィリピン、日本、タイ)

② 年金相談会・入管相談会

期 日 10月24日(金)

相談者 年金 5名(フィリピン、ウクライナ、ブラジル2名、ロシア)

入管 5名(ウクライナ、フィリピン、ブラジル3名)

カ 相談件数(令和8年3月末現在)

(ア) 相談言語対応別

日本語	英語	中国語	ベトナム語	ポルトガル語	その他	合 計
411	111	163	24	628	265	1,602

※3月末現在合計

※2年度1,429件→3年度1,338件→4年度1,704件→5年度1,651件→6年度1,580件(3月末現在)

(イ) 相談内容別

入管手続	雇用・労働	社会保険・年金	税金	医療	出産・子育て	教育	日本語学習	防災・災害	住宅	身分関係	交通・運転免許	通訳・翻訳	福祉	マイナンバー	ウクライナ関係	手続き一般	その他
126	127	126	69	157	146	139	27	1	85	42	38	211	36	0	42	95	135

(3) 地域日本語教育事業

ア 地域日本語教育体制整備事業

外国人住民を対象に基礎日本語教室を開催するとともに、県内の日本語教育環境を強化するため、日本語事業全般のコーディネート業務を行った。

4月6日(日)～3月22日(日) 全132回

南太閤山コミュニティセンター(射水市)	10回	32名
黒部市国際文化センター(黒部市)	20回	142名
福光福祉会館(南砺市)	10回	96名
とやま国際センター(富山市)	76回	407名
オンライン教室	16回	50名
計		727名



イ 日本語支援強化事業

○日本語交流サポーター養成講座の開催

期 日：4月27日(日)～8月31日(日) 全10回

場 所：とやま国際センター 研修室

参加者：31名

○日本語教室運営支援事業

日本語教室運営アドバイザーを配置し、地域日本語教室に助言・指導を行った。

実績：太閤山日本語グループ	3回
日本語教室 in 黒部	4回
日本語ひろば滑川	2回
日本語教室 in 氷見	4回
魚津市日本語教室	1回

○日本語支援者スキルアップ研修会

期 日：2月23日(祝・月)

場 所：富山市民プラザ4階アンサンブルホール

参加者：96名

内 容：第1部 公開ワークショップ

第2部 講演”わかりあえないことから”

講 師：平田 オリザ 氏(劇作家)



(4) 外国語の絵本よみきかせ親子の会

外国語の絵本の読み聞かせを通して、外国籍の子どもには母国語や母国の文化に接する機会を提供し、日本人の親子には海外の文化に触れる機会を提供した。

頻 度：毎月1回 日曜日

回 数：11回(英語(7回)、中国語、ポルトガル語、ロシア語、ベトナム語)

※1月のインドネシア語は雪のため中止

場 所：とやま国際センター ラウンジ

参加者：延べ180名(子ども88名、大人92名)

(5) 外国人住民地域防災力向上事業

能登半島地震での経験を踏まえ、災害時に外国人住民を支援するための各種訓練・研修を実施し、外国人住民の地域防災力の向上を図った。

新 ア 富山県災害多言語支援センター運営訓練

県ととやま国際センターが合同で県災害多言語支援センターの初動訓練を行った。

期 日：7月11日(金)

場 所：とやま国際センター研修室

参加者：災害発生時に災害多言語支援センター設置・運営に係わる者 26名
(県多文化共生推進室職員、とやま国際センター職員)

内 容：事例講習 「佐賀県における災害多言語支援センター設置運営訓練について」

講師 (公財) 佐賀県国際交流協会 企画交流課長 矢富 明徳 氏

初動訓練 災害多言語支援センター設置ガイドラインに沿って、発災から5時間程度までの動きについて初動訓練を実施

新 イ 外国人のための防災研修

(ア) 外国人防災力向上研修

期 日：11月25日（火）11：00～12：30

場 所：（株）松村精型 本社工場

参加者：同社に勤務するベトナム人従業員12名 ほか

内 容：災害時の適切な行動（水害、マイ・タイムライン）についての出前講座をやさしい日本語とベトナム語（国際交流員が通訳）で実施

(イ) 地域住民防災力向上研修

高岡市との共催により、日本人住民と外国人住民と一緒に地域における防災や災害時の協働について考える研修を実施した。

期 日：3月7日（土）

場 所：能町地域交流センター

参加者：能町地区、角地区在住の日本人住民、社会福祉法人あかね会及び医療法人社団志貴野会に勤務する外国人介護職員（フィリピン、ミャンマー）ほか 27名

内 容：多文化共生と地域防災に関する講義とグループワーク

講師・ファシリテーター NGO ダイバーシティとやま代表理事 宮田 妙子 氏

ウ 広域連携による防災研修（北陸三県の県及び国際化協会が共同で持ち回り開催）

大規模災害時における石川県、福井県との連携を想定した「災害時外国人支援防災研修」を下記（6）アの外国人コミュニティリーダー交流研修（福井県と共催）に合わせて実施した。

期 日：7月5日（土）

場 所：ウィング・ウィング高岡

参加者：54名（富山県31名、石川県12名、福井県11名）

内 容：事例紹介「能登半島地震やトルコ地震での支援活動について」

（（一社）富山ムスリムセンター代表理事 サリム・マゼン 氏）

講 義「日本人と外国人の協働による災害時の支援について」

（JICA 能登町デスク 中谷 なほ 氏）

ほかにグループワーク、意見交換を実施

エ 富山県総合防災訓練への参加

県総合防災訓練において外国人住民が地域住民と交流しながら防災訓練に参加した。

期 日：9月28日（日）

場 所：南砺市立城端中学校体育館、屋内グラウンド、城南パークなど

参加者：センダン電子（株）に勤務する外国人技能実習生12名（中国、インドネシア）

にほんご広場なんと 外国人受講生3名、

日本語ボランティア7名

内 容：避難者受付、ハザードマップの確認、避難所開設訓練（段ボールベッド作り）、炊き出し試食 など

上記訓練の事前研修として、富山県の外国人状況や災害時の支援に関する地域住民向け研修を実施。

期 日：7月15日（火）夜 場 所：南砺消防署2階防災ホール



新（6）外国人コミュニティリーダーつながり事業

一定の要件（コミュニティの状況を理解、SNS 活用能力等）を満たす外国ルーツの方々を公募し、当センターの公式専用 LINE に登録してもらった。

登録人数：23名（ベトナム5、ブラジル4、中国2、ロシア2、ネパール2、パキスタン2 ほか）

配信内容：各種情報（防災、生活、イベント等）を LINE で提供し、リーダーから各コミュニティに向けて SNS での共有を依頼

配信回数：9回

ア 福井県との共催による外国人コミュニティリーダー交流研修

福井県の外国人コミュニティリーダーと一緒に県内の多文化共生に関する施設を見学し、交流を図った。（上記（5）ウの広域連携による防災研修に合わせて実施）

期 日：7月4日（金）～7月5日（土）

場 所：県内の多文化共生に関する各施設、救急薬品市民交流プラザ

参加者：45名（富山県34名、福井県11名）

内 容：富山モスク、ローソン新湊津幡江店、アレッセ高岡、Kodomotachi、Braves Cultural Center の見学、ワークショップ、カレーの炊き出し試食体験

イ 射水市との共催による外国人コミュニティリーダーとのランチミーティング

県内在住の外国人コミュニティリーダーに参加してもらい、相互または日本人との意見交換の場を提供した。

期 日：2月7日（土）

場 所：アルバラカ（射水市内パキスタン料理レストラン）

参加者：外国人コミュニティリーダー7名（ブラジル2、パキスタン2、ベトナム、ネパール、
バングラデシュ）

日本人6名（県、射水市、とやま国際センター職員）

内 容：日ごろの思いや悩みについて率直に意見交換

県や射水市は今後の施策等に反映可能な意見をくみ上げる機会とした

（7）オンライン多文化理解連続講座

富山に縁のある海外在住者、有識者等を講師に迎え、各国の歴史や文化、生活習慣等についてオンライン講座を開催した。

【第1回】

期 日：12月6日（土）

内 容：「上海の若者たち～変化する大都市に生きる新しい世代～」

講 師：夏 媛 氏（上海市青少年研究センター 助理研究員）

参加者：13名

【第2回】

期 日：12月14日（日）

内 容：「私の愛する富山とインドのこれから」

講 師：プチャラパリ・スリニワスル・レッディ 氏（エコサイクル(株)シニアリサーチャー）

参加者：12名

【第3回】

期 日：1月24日（土）

内 容：「バンクーバーから考える日本語教育の未来」

講 師：牲川 波都季 氏（関西学院大学教授、ブリティッシュコロンビア大学客員教授）

参加者：17名

【第4回】

期 日：2月15日（日）

内 容：「ケルンにおける外国人へのドイツ語教育」

講 師：山方 美乃 氏（国際交流基金ケルン日本文化会館 日本語指導助手）

参加者：19名

（8）こどものためのグローバル教育セミナー

子どもたちのグローバル教育をテーマとして各回様々な講師を招き、多様な社会を生きぬくグローバル教育について考えるセミナーを実施した。

【第1回】オンライン（ZOOM）

期 日：6月21日（土）

内 容：「海外子育て事情～インド・シンガポール編～」

講 師：倉本 隆史 氏（シンガポール在住の子育てパパ）

参加者：12名

【第2回】アレッセ高岡と共催にてリアル開催

期 日：8月22日（金）

場 所：とやま国際センター研修室

内 容：「外国にルーツをもつ子どもたちの就学と発達支援を考えるセミナー」

講 師：本堂 晴生 氏（NPO法人Gコミュニティ代表理事）

佐藤 友哉 氏（ジョイフル心理相談室代表、臨床心理士、公認心理士、精神保健福祉士）

築樋 博子 氏（元豊橋市教育委員会外国人児童生徒教育相談員）

参加者：30名

新(9) 多文化居場所づくり事業

子育て世代等の外国人住民が集い、地域に在住する外国人などの講師のもと、工作等を楽しみながら親睦を深めた。また、日本人サポーターとの対話を通じて会話力の向上、地域社会参画を目指す日本語初級対話クラスを行った。

【親子アートワークショップ】

6月29日(日)	オリジナル七夕飾り	神初 奈津子 氏(日本)	参加者 11名
7月27日(日)	フォトフレーム	須藤 アドリアナ 氏(ブラジル)	13名
8月10日(日)	漢字で"うちわ"	加古 春在 氏(日本)	14名
9月28日(日)	ビーズアクセサリ	エレナ・ペトラコーヴァ 氏(ロシア)	12名
10月19日(日)	新聞ちぎり絵	三國 博美 氏(日本)	10名
11月9日(日)	パステル画	ピンキー・リー 氏(香港)	14名

【初級対話クラス】

9月21日(日)～3月22日(日) 7回
外国人参加者 18名、日本語交流サポーター23名

4 国際理解・研修事業

(計画額 2,942千円 実績額 1,570千円)

(1) 語学講座の開催

講座名	コース	期 間	回数	受講者数
中国語	入 門	5/30～3/13	30回	11名
	初 級	5/29～3/12		10名
	中 級	5/27～3/10		10名
韓国語	入 門	5/15～2/19		38名
	初 級	6/3～3/10		25名
英 語	初 級	5/14～3/11		20名
ポルトガル語	初 級	5/14～3/18		3名
ベトナム語	会 話	6/2～7/14	6回	11名
ベトナム語	入 門	9/22～2/9	15回	12名

場 所：とやま国際センター研修室

計 140名

(2) 国際理解出前講座

地域の国際交流協会や小中高校、大学などからの要望に応じて現場へ出向いて講座を開催し、国際交流・国際理解・国際協力について理解を深めてもらった。

回 数：45回

参加者：延べ 1,896名

講 師：国際交流員、JICA職員、青年海外協力隊OB、留学生など

(3) 国際交流サロン

ア ナマステインディア

インドのさまざまなことについて英語で紹介し、県民に異文化理解の場を提供した。

回 数：11回

参加者：延べ 99名

場 所：とやま国際センター研修室

イ 中国語&韓国語チャット

国際交流員をコーディネーターとして、中国、韓国の様々なことについて各言語で語り合うチャットを開催し、交流を深めた。

回 数：20回

参加者：延べ 108名(中国語21名、韓国語87名)

場 所：とやま国際センター研修室

(4) English Immersion Classroom

ALT(外国語指導助手)などの外国人を講師として、英語で様々な科目の授業を体験する場を提供した。

【第1回】

期 日：7月13日(日)

内 容：アメリカ英語 VS イギリス英語、異文化コミュニケーション

参加者：19名



【第2回】

期 日：12月7日（日）

内 容：ジャッキー・ロビンソン～初のアフリカ系メジャーリーガー～、
あなたの知らないオーストラリアのアレコレ、ブリティッシュコメディの歴史

参加者：16名

（5）国際交流ひろば

国際交流員および県内在住外国人が料理を通じて各国の食文化などを紹介する「国際交流ひろば」を開催した。

			参加者
【第1回】	中国の料理	8月1日（金）	18名
【第2回】	ブラジルの料理	8月21日（木）	17名
【第3回】	ベトナムの料理	11月30日（土）	14名
【第4回】	ロシアの料理	12月20日（土）	16名

場 所：富山県民共生センター「サンフォルテ」

（6）English Reading Club

在住外国人をコーディネーターとして、英語の本を読み文化・習慣の違いについて語り合う読書会を行った。

【第1回】

期 日：7月5日（土）

内 容：“Nigel the lonely gannet dies as he lived, surrounded by concrete birds” The Guardian

参加者：5名

【第2回】

期 日：10月5日（日）

内 容：“Graceful Context-Switching: The Art & Science of Multitasking efficiently”
Abhishek Chakraborty

参加者：7名

【第3回】

期 日：1月18日（日）

内 容：“Notes of a Native Son” James Baldwin

参加者：5名

（7）国際理解のための教材、国旗及び民族衣装の貸出し

（貸出実績）

教 材： 4点 （3団体）

民族衣装： 23点 （4団体）

国 旗： 87点 （17団体）

5 情報サービス事業

（計画額 920千円 実績額 653千円）

（1）情報発信事業

県民の国際交流、国際協力、多文化共生等に関する関心、理解を高めるとともに、県内在住の外国人に対して生活に必要な情報を提供することなどを目的として、ホームページ、SNS、機関紙「TIC NEWS」等を通して情報発信を行った。

「TIC NEWS」

内 容：県内の国際交流・国際協力に関する情報、国際交流団体の活動、県内在住外国人へのインタビュー、とやま国際センターの事業報告など。156～159号を発行。

（2）国際交流人材バンク

ア 国際交流人材の登録と紹介

（紹介実績）

区 分	件数	内 訳（人）
通 訳 者	10件	英語(4) 中国語(2) 台湾語(2) スペイン語(1) ポルトガル語(1) タイ語(2) ヒンディー語(1) 計：13名
翻 訳 者	17件	英語(9) 中国語(3) 韓国語(1) ドイツ語(1) イタリア語(1) ヒンディー語(1) タガログ語(1) 計：17名
ホストファミリー	0件	
日本語指導者	1件	計：1名
海外事情紹介者	1件	オーストラリア(1) 計：1名

イ 通訳者の資質向上のためのセミナー

中国語通訳ガイドをテーマとして、国際交流人材バンク通訳・翻訳登録者を主な対象にセミナーを開催した。

期 日：11月29日(土)

場 所：とやま国際センター研修室

受講者：10名

内 容：「中国語通訳ガイド講座」

講 師：水谷 浩 氏

((一社) 日本中国語通訳案内士協会 代表理事会長)



6 富山県大連事務所運営事業

(計画額 34,393千円 実績額 30,604千円)

(1) 経済交流の推進

ア 訪問・来訪等による情報収集等

・第15回北東アジア自治体連合総会・第2回遼寧省国際友城大会(6月)への参加・随行 ほか

イ 展示会等に対する協力・支援

・第34回大連アカシア祭り出展(5月)、第15回中国東北アジア博覧会出展(8月)、第14回遼寧省国際農業博覧会出展(9月)、第14回大連日本商品展覧会出展(10月) ほか

ウ 各種商談会、セミナー等の調査・視察

・2025年海外駐遼寧省機構・協会第7回総会(5月)、2025年大連市友好交流円卓会議(5月)、在中国自治体事務所連絡会議(7月)、第21回日中地域間交流推進セミナー(7月)、遼寧省冰雪経済大会(12月) ほか

エ 観光客の誘致

・中国の旅行会社、大連市旅游局等との面談、情報収集、PR等
・富山県メディア招聘事業への協力(7月)
・黒部市観光説明会の開催支援(10月)
・在外公館主催天皇誕生日レセプション出展(3月大連、瀋陽)

オ その他

・大連富山企業会の開催(7月、3月)、企業視察、意見交換会等の開催
・富山県企業と遼寧省企業のマッチング支援(現地企業への視察や調整)
・県内企業の中国への県産品輸出に係る支援(税務・法律相談等含む)
・富山県人会への参加(7月北京、12月上海)
・在瀋陽日本国総領事及び大連領事事務所長の富山県訪問(11月、3月)

(2) 各種交流事業への支援

ア 学術研究交流団等の来訪時の研修・説明等への協力

・ICTを活用したオンライン学校交流の協力校への訪問(9月)、環境協力に関する現地調査支援(12月)など

イ 友好交流事業への協力

・遼寧ファン倶楽部訪中団の調整・随行(5月)、高岡市訪中団の受入れ(8月)、第24回日中友好富山県地方議員連盟訪中団の調整・随行(10月)、黒部市訪中団の調整・随行(10月)

(3) 富山ファン倶楽部の活動

- ・富山ファン倶楽部総会の開催(5月)、大連分会の開催(10月)
- ・会員への富山県情報の提供
- ・会員名簿の更新、新規会員の加入促進(会員数432名(3月末日現在))



大連分会

Ⅱ 日本海学推進事業

(計画額 4,940千円 実績額 4,223千円)

1 日本海学講座

タイトル	講 師	期 日	参加者	場所
豪雪の舞台裏—富山の雪と暮らし—	富山大学都市デザイン学部 地球システム科学科教授 杉浦 幸之助 氏	10月18日(土)	27名	富山県民会館 701号室
紀行文学と日本海—作品と資源をたどる—	同志社女子大学表象文化学部 准教授 宮本 明子 氏	11月8日(土)	24名	富山県民会館 401号室
日本海をめぐる中古車貿易の様相	富山高等専門学校 国際ビジネス学科教授 岡本 勝規 氏	11月29日(土)	26名	富山県民会館 611号室
日本海側の縄文貝塚	(公財) 富山県文化振興財団 町田 賢一 氏	12月13日(土)	30名	高岡市生涯学習センター503研修室

2 日本海学シンポジウム

期 日: 1月31日(土)

場 所: パレプラン高志会館カルチャーホール

参加者: 69名

テーマ: 「日本海の食—富山からの視点」

基調講演: 秋道 智彌 氏 (山梨県立富士山世界遺産センター所長)

3 大学講座等推進事業

	内 容
富山大学	総合科目特殊講義「日本海学」に山本 雅資 氏 (神奈川大学教授) ほか1名を派遣
富山国際大学	「環境デザイン特別講義」に藤田富士夫 氏 (日本海学推進機構アドバイザー) ほか2名を派遣
富山県立大学	「富山と日本海」「環境論Ⅰ」に松島吉信 氏 (富山県文化財アドバイザー) ほか3名を派遣

4 日本海学研究グループ支援事業

助成実績 応募12件、助成7件、助成総額1,600,000円

令和6年度助成分成果発表会

期 日: 8月30日(土)

場 所: 富山県民会館701号室

Ⅲ 旅券関係事業

(計画額 49,968千円 実績額 48,901千円)

旅券の発給申請の受理及び交付事務の補助業務、旅券発給等に係る定期報告、統計資料の作成業務など旅券に関する業務を富山県旅券センター及び高岡支所で行った。

(旅券発行状況)

区 分	令和6年度件数 (3月末現在値)	令和7年度件数 (3月末現在値)	対前年度比(%)
新規発給	19,673	18,614	94.6%
変更・残存	312	346	110.9%

令和7年度 法人の運営体制の充実を図るための取組

(公財) とやま国際センター

1 内部統制、コンプライアンス体制

- ・定期的に全職員参加の会議を実施し、事業の実施状況を確認するとともに、個人情報の管理の徹底等を図りリスク管理に努めた。

2 法人運営における取組

- ・代表理事を2名にし、運営体制の強化を図っている。
- ・毎月、税理士による経理確認を行っている。
- ・給与規程等の規程を改正し整備を行った。
- ・助成事業について、外部有識者も含めた審査委員会の審査を経て助成を決定している。

